

～刈谷スマートシティ～ 課題解決型実証プロジェクトを募集します。

刈谷スマートシティの取組として、課題解決型実証プロジェクトを4月5日（水）から市のホームページにて募集します。積極的なご応募をお待ちしております。

1 事業概要

本市が抱える課題を提示し、その課題を解決するための実証プロジェクトを広く募集し、民間企業等の持つ先端技術やノウハウ、アイデアを活用した実証を実施することで、スマートシティの更なる推進を図ります。

2 応募対象課題（担当課）

（1）災害時の避難所受付のスマート化（危機管理課）

避難所はアナログな手法で運営しており、受付は避難者自身が登録票を手書きで記入してもらう、避難所と災害対策本部でリアルタイムに避難者数の把握ができないなどといった状況が続いているため、システム等を活用して効率的な避難所運営を行いたい。

（2）利用しやすい病児・病後児保育の実現（子育て支援課）

利用予約を電話で行っているため、限られた受付時間にしか予約が受け付けられない、気軽に医師に病状を相談できる仕組みが欲しい、保護者への子どもの様子をわかりやすく伝えたい、という様々な課題をICT等の技術を使って解決したい。

（3）バス利用者の移動需要（乗降情報等）の把握（都市交通課）

バスの利用者の把握は、各便別で各停留所で乗車した人数を運転手が記録する形でデータをとっており、乗車人数のみ把握している。各バス停の降車人数を把握するとともに、乗車した人がどのバス停で降車するのかをデータで把握することで、路線の再編に活用したい。

（4）刈谷ハイウェイオアシス駐車場のスムーズな利用（公園緑地課）

公園に近い駐車場はすぐに満車になることが多い一方で、一番広い県道を挟んだ駐車場では駐車スペースに余裕のある状態が多いため、駐車場の位置と空き状況を運転者に周知し、誘導することで駐車場を有効活用したい。

（5）水道管漏水の早期発見と予防保全の実現（水道課）

漏水の発見は市民からの通報がメインで、ほとんどの管路は、地中に埋設されて目視が出来ないため、点検による状態把握が困難である。早期に漏水箇所を検知する仕組みを活用して効率的な水

道管の維持管理と更新を行い、漏水を未然に防ぎたい。

3 応募方法

市ホームページに掲載される企画提案書をメールで提出。

4 費用

1プロジェクト当たり上限300万円（刈谷市と委託契約）。

5 スケジュール

年 度	日 程	内 容
R 5	4月 5日	実証プロジェクト募集開始（市ホームページ）
	4月21日	第1回刈谷市スマートシティ推進協議会 ・課題についてのプレゼンテーション実施
	5月12日	実証プロジェクト企画提案書提出締切
	～6月下旬	審査（書類選考、面談）
	6月下旬	第2回刈谷市スマートシティ推進協議会 ・候補者決定
	7月中旬	正式採択
	～2月上旬	実証プロジェクト実施
	3月下旬	第3回刈谷市スマートシティ推進協議会 ・完了報告

6 問合せ先

刈谷市企画政策課みらい共創係

電話 0566-95-0003 メール kikaku@city.kariya.lg.jp